

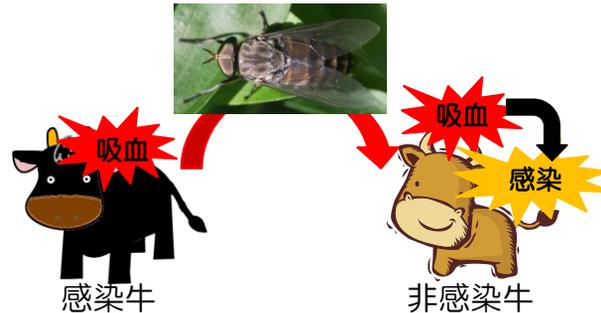


牛白血病の農場内感染拡大防止対策に取り組みましょう！② ～その虫が感染を拡大させる～

前回に引き続き、農場における牛白血病対策についてです。今回は、牛白血病ウイルスの感染拡大防止対策の一つである、吸血昆虫対策について御説明と御紹介をします。

7月に入り、今年もアブやサシバエを農場で見かける回数が多くなりました。牛白血病ウイルスは血液（感染リンパ球）を介して伝播するため、アブやサシバエなど吸血昆虫が、感染牛の次に非感染牛を続けて吸血することにより感染します。

吸血昆虫対策を行い、農場内の感染拡大を抑制しましょう。



牛舎の外側の対策

吸血昆虫は牛舎の外から飛んできます。右の写真では、牛舎の周囲にネットを設置し、吸血昆虫の内部への侵入を防止しています。

また、サシバエ対策としては休息場所を減らすための周辺の除草や脱皮阻害剤による幼虫駆除も効果的です。



牛白血病に関する衛生対策ガイドラインより



牛白血病に関する衛生対策ガイドラインより

陽性牛と陰性牛の分離飼育

抗体検査結果から陽性牛と陰性牛を分離して飼育することが望ましいですが、牛舎の構造などの面から完全に分けることが難しい農場もあると思います。

左の写真では、陽性牛と陰性牛を分けた後、その境界に牛の体高+1.0～1.5mほどのネットを張り、吸血昆虫が陽性牛から陰性牛に直接飛び移るのを防止しています。

アブは網目1cm以下、サシバエは網目2mm以下のネットが効果的です。

その他にも、市販のペルメトリン製剤を活用し、週2回程度感染牛にだけ使用し農場内で感染牛から吸血する昆虫が減らすなどの対策があります。出来ることから対策を始め、感染拡大を防止しましょう。

韓国(済州島)で豚コレラ発生

平成28年6月28日、韓国済州島において豚コレラの発生が確認されたとの報告がありました。韓国における豚コレラの発生は、平成25年11月28日の発生以降約3年ぶりとなりますが、豚コレラワクチン未接種の清浄地域だった済州島では約18年ぶりの本病発生事例です。

我が国においては、平成4年の最終発生後、平成19年4月に本病の洗浄化を達成し、平成27年5月には豚コレラ清浄国の認定を受けていますが、これから夏期休暇の時期を迎え、人・物の移動が盛んになることに伴い、我が国への本病ウイルスの侵入リスクが高まるのが危惧されます。

つきましては、豚コレラウイルスの侵入を未然に防ぐため、飼養衛生管理基準の遵守の再徹底及び本病の発生状況等の情報収集をお願いいたします。

夏期の死亡牛検査業務日程について

例年夏場においては、暑熱により死亡する牛の頭数が増加します。また、気温が高くなると腐敗が短時間に進行し、適切な検査材料の確保と円滑な化製処理が困難となります。

そのため、熊本蛋白ミール公社およびBSE検査所では、夏場対策として、7月から9月まで、受付時間を次のように変更します。

1 夏期の受入変更期間

平成28年7月1日～平成28年9月30日(3ヶ月間)

2 変更内容

(1) 土曜の午後も開場します。

月曜から土曜日の対応時間

午前	午後
8時30分～11時30分	1時～3時

(2) 祝日等の対応

右の祝日等は休業となります。

なお、日曜日は休業です。

祝日等	祝日名等
7月18日(月曜日)	海の日
8月11日(木曜日)	山の日
8月15日(月曜日)	お盆
9月19日(月曜日)	敬老の日
9月22日(木曜日)	秋分の日

迅速な搬入と搬入時間の事前連絡を、蛋白ミール公社(0968-26-3766)までお願いします。

海外悪性伝染病発生状況

病名	発生地	発生日	畜種	型
高病原性鳥インフルエンザ	台湾	4月28日～5月30日	地鶏	H5N2
	中国	6月7日	鶏	H5N6

7月1日現在

通報

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」

